

ROTOBO

Connecting Markets

ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ROTOBO

2025年(令和7年)1月25日号 No.1980

目次

■ カザフスタンのロジスティクス動向	1
■ 統計速報	11
2024年1～11月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／11	
2024年1～11月の日ロ貿易／12	
■ エトセトラ	15
アルメニアワイン・プロモーション事前説明会のご案内／15	
■ トピックス	15
ロシア、日本センターの覚書終了と発表／15	
米、ロシアに追加制裁／15	
ロシア、イランとの戦略的パートナーシップ条約に署名／15	

カザフスタンのロジスティクス動向

(一社) ROTOBO ロシアNIS経済研究所
嘱託研究員 齋藤 竜太

はじめに

今号ではカザフスタンの近年のロジスティクス動向を取り上げる。ロシアによるウクライナ侵攻や中東地域の情勢緊迫化などを受けて、代替物流ルートの開拓・開発への需要が世界規模で高まっている。そのような情勢下にあって、中国から中央アジア・コーカサスを経由して欧州方面へと至る「中央回廊」のルート上にあるカザフスタンに対して、ロジスティクス面からの関心が高まっている。以下、2023年の統計資料や報道などを基に、カザフスタンにおける物流部門の現状、トランジット輸送の動向、カスピ海海運の現状などについて概観していく。

1. 2023年実績 貨物輸送は海運が急伸もメインは鉄道輸送

2023年のカザフスタンにおける貨物輸送実績は、重量にして9億8,069万t、t・kmにして5,013億t・kmと、それぞれ対2022年比で4.2%および3.0%の増加となった。旅客輸送実績については15億7,994万人、人・kmにして727億5,370万人・kmと、同じくそれぞれ7.7%および9.3%の増加となった。

以下、輸送モード別にみえる。まず鉄道では、貨物輸送の実績は4億1,636万t、t・kmにして3,268億t・kmと、同じくそれぞれ2.7%および4.6%の増加となった。旅客輸送実績では、1,983万人、人・kmでは161億1,300万人・kmと、それぞれ2.1%増加および1.6%減少となった。